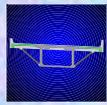


PC設計NEWS



やまきり1ごうこうかきょう 山切1号高架橋

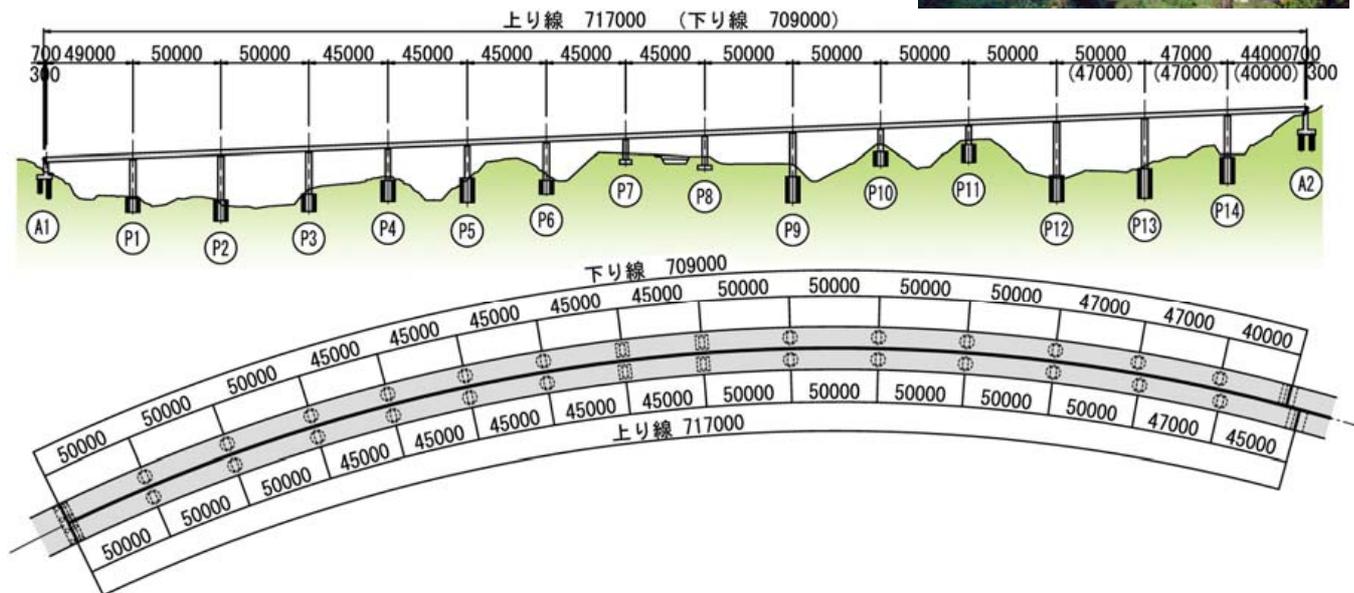
山切1号高架橋は、第二東名高速道路と東名高速道路を結ぶ清水連絡路の伊佐布IC～尾羽JCTに位置するPC15径間連続箱桁橋です。本橋の立地条件は、起伏の激しい地形であることから経済性、施工性および品質確保にすぐれた架設術を用いるプレキャストセグメント張出し架設工法を採用しています。

主桁断面形状は、セグメントの軽量化を図るために、箱桁コア断面に張出し床版のリブ・ストラットを有したプレキャストセグメントを採用し、製作・架設規模の縮小を図っています。また、柱頭部を含め全てのセグメントを架設術を用いて施工することにより、立地条件に制約されず施工が可能です。

本橋で採用した架設術を用いるプレキャストセグメント張出し架設工法は、厳しい立地条件においても品質、経済性にすぐれた施工が可能となるとともに、固定支保工施工と比較して経済性に優れています。



一般図



橋梁諸元

- 工事名：第二東名高速道路 山切1号高架橋 (PC 上部工) 工事
- 発注者：中日本高速道路㈱
- 位置：静岡県静岡市清水区
- 形式：PC15径間連続箱桁橋
- 荷重：B活荷重
- 橋長：上り線 717m (3@50.0m+5@45.0m+5@50.0m+47.0m+45.0m)
下り線 709m (3@50.0m+5@45.0m+4@50.0m+2@47.0m+40.0m)
- 総幅員：11.710m (有効幅員 10.750m)
- 架設工法：プレキャストセグメント張出し架設工法
- PC鋼材：主鋼材 SWPR7B 19S15.2 (アンダーソン工法：外ケーブル)
SWPR7B 12S15.2 (アンダーソン工法：内ケーブル)
- 床版横締め SWPR19 1S21.8 (SM工法：プレグラウト鋼材)

断面図

